

土湯の森植生モニタリング調査

10月22日(水)、戸沢村最上川スキー場跡地、土湯の森において、山形大学農学部小山教授はじめ学生さん6名、地元古口地区住民の方々、山形県最上総合支庁、戸沢村役場、最上支署、センター職員の計27名により、今年度で8回目となる植生モニタリング調査を実施しました。



調査は4班体制で、学生さんに測定をお願いし、下草が生い茂る中、全員で苗木(ブナ等広葉樹)を探しながら、順調に進行しました。その甲斐があり、昨年度確認できなかった苗木を発見でき、皆さんの集中力に助けられた場面もありました。地元の方の中に、苗木を植えた方(H20,H21年度植付)がおり、下草をかき分け

(各班一斉に調査開始)

て先に立ち苗木の位置を示していただいたことに、非常に心強い感がありました。

昼食をはさみ、引き続き調査を無事終了後、



小山教授と学生さん6名とともに「幻想の森」へ移動。林内散策途中で記念写真を撮影する等楽しんでいただき、解散しました。



(午前中の作業後、自主的に打合せ)

(測定手、野帳マンの連携よろしく)

調査を継続的に実施するためには、関係する皆様のご協力が欠かせません。今後も引き続き、データの集積及び整理、その結果を毎年度実施している自然再生実施協議会にて審議いただき、この土湯の森の自然再生事業の方向性を模索していきたいと思っております。



(小山教授、学生さん、おつかれさまでした)



(皆さん、おつかれさまでした)